

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ChicoBoteDos		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		~ 2026年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		~ 2026年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士・作業療法士・心理士・保育士と専門職が在籍しており、各専門職が連携をとりながら療育を提供できること。	保護者の方と基本は月1回の面談を行い、お子様の様子や保護者の方の要望をお聞きしています。その後、その内容を職員で情報共有し対策を考えています。	保護者の方に面談のあり方のアンケートを行いより、寄り添った形で実施できるようにしていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育所や幼稚園、他事業所との交流の場が取れていない事。	利用者も増え、職員が日々の業務に邁進しているため時間の確保が難しい。	職員業務内容の見直しを行い時間を確保できるかを検討していく。
2			
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 ChicoBoteDos

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 45

回収数 33

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	2		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1		2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	3				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	3	3	11		今後の課題とさせていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	4				定期的な面談の継続とフィードバックを充実させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	2		6		2ヶ月に一度程度、専門職の講座や親子参加イベントの開催をしています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	3			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2		1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26			7	マニュアルの周知に努めています。避難訓練は実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24		1	8	避難訓練実地のお知らせはおたよりに記載しておりますが、他の周知方法も検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			5	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1		4	怪我をしたことが無いので対応がわからない。事故やケガをした際には迅速・丁寧に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	1			迅速に対応して頂き、感謝しています。今後とも宜しくお願い致します。

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	ChicoBoteDos
------	--------------

公表日 2026年 3月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	・多職種が協力して関わっている	・保育士を増やす必要がある。 ・保育士1名増員を希望する。 ・スタッフの休みが重なると人手不足になりやすい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・シンプルな間取りで分かりやすい、導線も配慮されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・活動に合わせて部屋を分けて使えるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	・共有する時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎週木曜日に会議の時間を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		・業務が職員により少し偏りがあるかと感じる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5		・外部評価については今後検討課題だと思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		・内部研修は定期的に行われているが外部研修の機会が少ない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	多職種（保育士、OT、ST、CP）がアセスメントを行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・会議をして共通理解をしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・多職種それぞれいつでも見れる場所に支援計画書が置かれている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・意見交換を行う時間を設けている。	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・子どもに合わせた支援内容を取り入れることができています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・ミーティングの時間がある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	・業務日誌を記入したりして共有している。 ・業務日誌や翌日朝礼で行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2	・積極的に情報提供を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・公園で交流がある。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・CP、OT、STや外部講師のセミナーを2か月に一度程度行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・定期的に面談を行い情報交換や助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	土曜日のイベントで親の交流会を行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・定期的に面談を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・避難訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・朝礼で確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・部屋を分けたりと工夫している。 ・情報は共有し、かつ目で見てわかるように書いて貼ってある。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・再発防止に向けて対策を行っている。（釘が取れないようにしたりなど）	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		内部研修は行い共有はしているが、外部の研修は受けていない。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0			